

2021 年度
国際政治経済学部
学校推薦型入試
【小論文】
60 分 100 点

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

海外からの移住を推進して地域経済を活性化させようとする試みは、あながち間違いではないかもしれない。移民が呼び水となって、海外資本も誘致される可能性があるからだ。日本国際交流センターの『「多文化共生と外国人受け入れ」に関する自治体アンケート2015―調査結果報告書―』は、都道府県と政令指定都市へアンケートを行っている。それによると、「人口減少・超高齢化が社会的に大きな問題となり、政府は自治体に対して自律的、持続的な地域社会のための「まち・ひと・しごと創生」に関する政策・施策の策定を求めています。貴自治体の政策・施策のなかで、どのような海外関連事業を展開する予定ですか」という質問に対し、外資系企業の誘致を挙げた自治体は都道府県で33・3%、政令指定都市で50%、外国人材の受け入れ、定住への支援を挙げた自治体は都道府県で18・5%、政令指定都市で40%となっている。

こうした日本の自治体の取り組み（外資系企業の誘致と外国人材の受け入れ）は、相乗効果を持って作用し、地域経済の活性化が加速される可能性がある。

また、右の地方自治体へのアンケートでは、地方創生のための海外関連事業のうち、もつとも回答が多かったのが外国人観光客の誘致である。外国人材の受け入れと比べると、日本の滞在期間が短い観光客だが、外国人材の受け入れと同じような効果があるのだろうか。観光は、先進国におけるGDPの3%から10%を占め、途上国のなかにはGDPの40%を占める国もある。観光は、外貨や税収の獲得だけでなく、観光産業の発展によって雇用の創出や経済成長も期待されるため、注目を集める産業の一つだ。また、これまでの歴史的な経緯を見ると、観光産業の発展には、海外からの直接投資が重要な役割を果たすことが知られている。

特に、2007年の国連による報告書が発表されてから、観光と海外直接投資の関係は、持続的な成長の牽引役の一つとして期待されている。海外からの観光客が増えると、観光関連産業で新たな雇用が生まれ出される。こうしたビジネスチャンスに、海外の投資家も反応し、ホテルやレストラン、旅行業などの観光関連の投資が誘発される。海外からの投資により外国人の利便性が増した観光産業は、ますます外国からの観光客をひきつけて発展するのだ。日本でも国際観光は有望な産業として位置づけられ、日本経済の活性化に一役買うと期待されている。こうした姿勢は、2002年に内閣によって策定された構造改革の議論に基づいて、国土交通省によって準備された「グローバル観光戦略」という報告書に見て取れる。同様に、経済の活性化のために、直接投資の誘致も進められてきた。1990年代には、バブル経済の崩壊によって不況に陥った日本経済を立て直すため、直接投資の促進が提唱された。2002年の構造改革の後には、地域経済の活性化や税収の確保のために、地方自治体が中心となって直接投資の誘致を進めた。

こうした外国人観光客の振興と直接投資の誘致の間の相互作用を分析した研究がある。日

本に直接投資を行っている主要な29の国や地域を対象とした分析だ。

それによると、国際観光の振興と直接投資の流入には相乗効果がある。つまり、国際観光客数が増えると、観光関連の分野だけでなく、海外から日本への全般的な直接投資が増えることが示されている。日本への外国人観光客が1%増えると、日本への直接投資が約1.2億ドル(132億円)増えると推定されている。日本での滞在日数が90日以内の短期の外国人でも、移民の場合と同じような効果が見られるのだ。

外国人材の受け入れだけでなく、外国人観光客が増えれば、海外から日本への直接投資が促進され、地方から日本経済を再生する可能性があるのだ。

しかし、国際観光は万能薬ではない。たとえば、外国人観光客の増加は、地方の消費需要を喚起する一方、「オーバーツーリズム」問題を起こしている。交通渋滞や騒音、ごみ問題から、環境資源破壊まで、その地域の生活や環境に多岐にわたる悪影響を及ぼしているのだ。外国人の急激な増加は、その経済効果を減らすような副作用があることにも、留意しなくてはいけない。

(友原章典『移民の経済学』中央公論新社(2020年)より抜粋)

問一 筆者の主張を400字以内で述べなさい。

問二 日本に定住する外国人材や日本を訪問する観光客と、日本の経済や地域の生活との関わりについて、あなたの考えを400字以内で述べなさい。